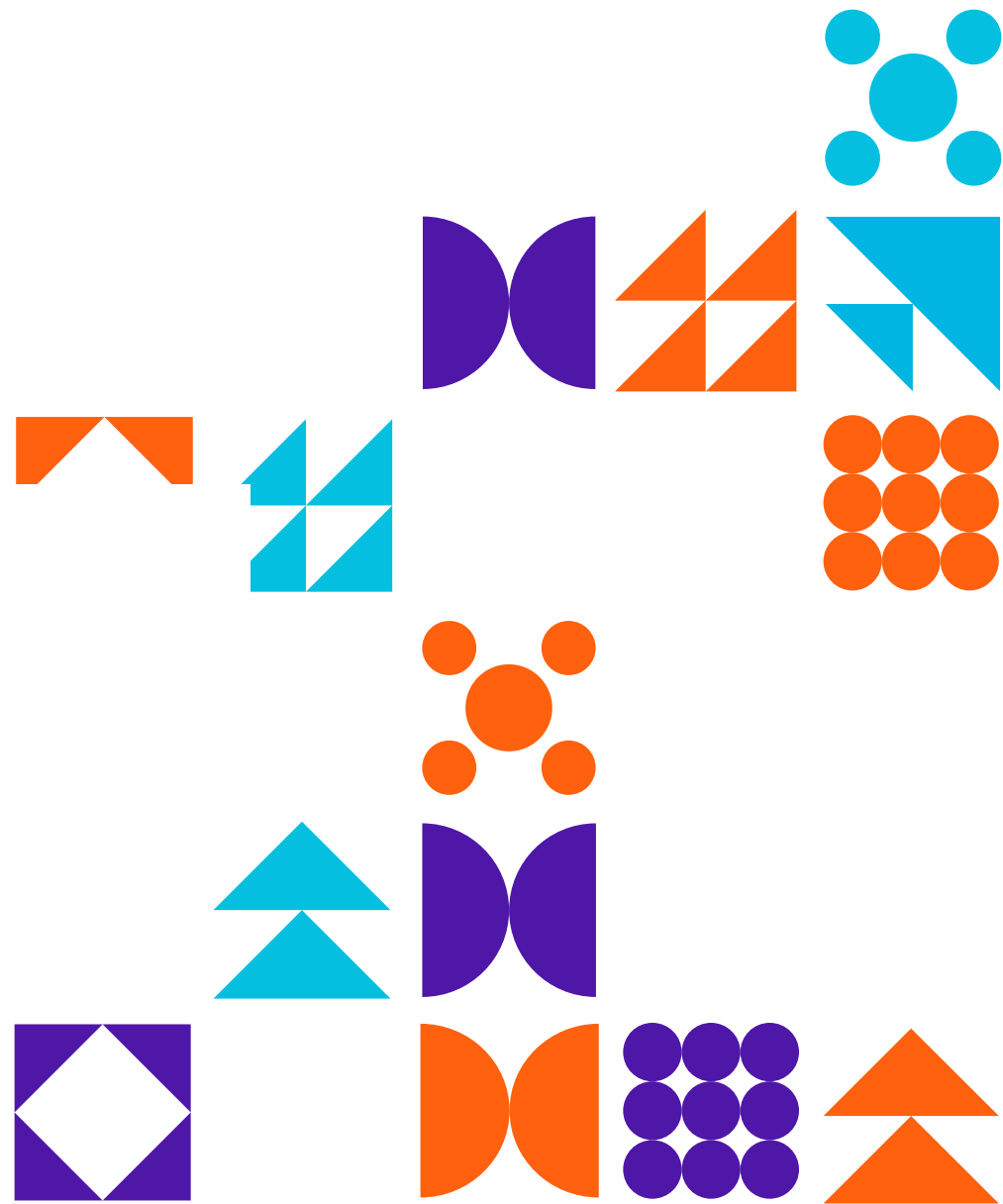


ケースメソッドSG 活動報告

2024年12月度 法人スポンサー連絡会

発表者 | 清村 建宅

2024/12/16



清村 建宅 | きよむら たつたか

明治安田システム・テクノロジー株式会社
MYソリューション本部 ホールセール・システム開発部
企業保険フロントシステム開発室 プロジェクトマネジャー



- システムエンジニアとしてホスト系システム(損害保険)の設計・開発・保守を担当。
2020年よりPMとして損害保険・企業保険のシステム開発プロジェクトに従事。
- 現在は、企業保険のシステム開発プロジェクトを担当。
- ケースメソッドSGには2022年4月より参加。

1. ケースメソッドSGの年間活動報告

- 活動内容
- 活動体制
- 2024年度活動実績

2. ケースメソッド実践ガイドの紹介

- ケースメソッドとプロジェクトマネジメント教育
- ケースメソッド実践ガイド

3. 今後の活動予定

- 生成AIの可能性について

1. ケースメソッドSGの年間活動報告

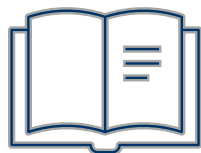
- 2024年は**2つのテーマ**で活動を実施しました。

テーマ 01

ケースメソッド実践ガイドの制作



ケースメソッドの**研究**



研究の成果を**ガイド化**

テーマ 02

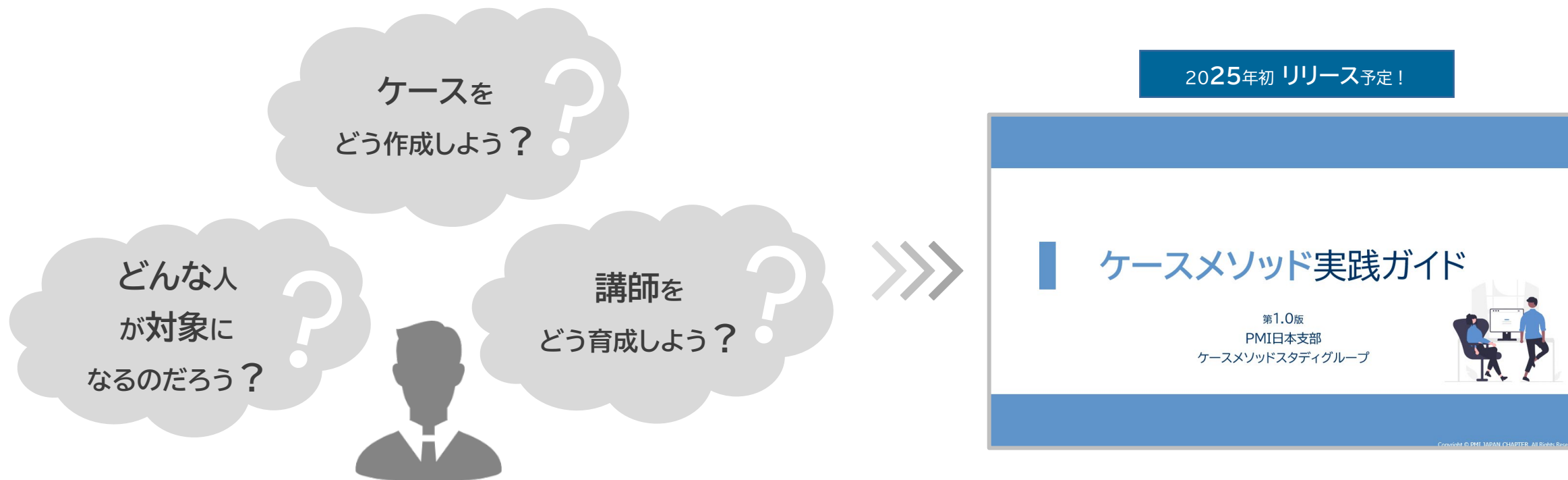
SG参加メンバーの悩みごと相談



企業や組織の人材育成のための教育に、
ケースメソッドを**容易に導入**できるようになることを**目指し、活動**しています！

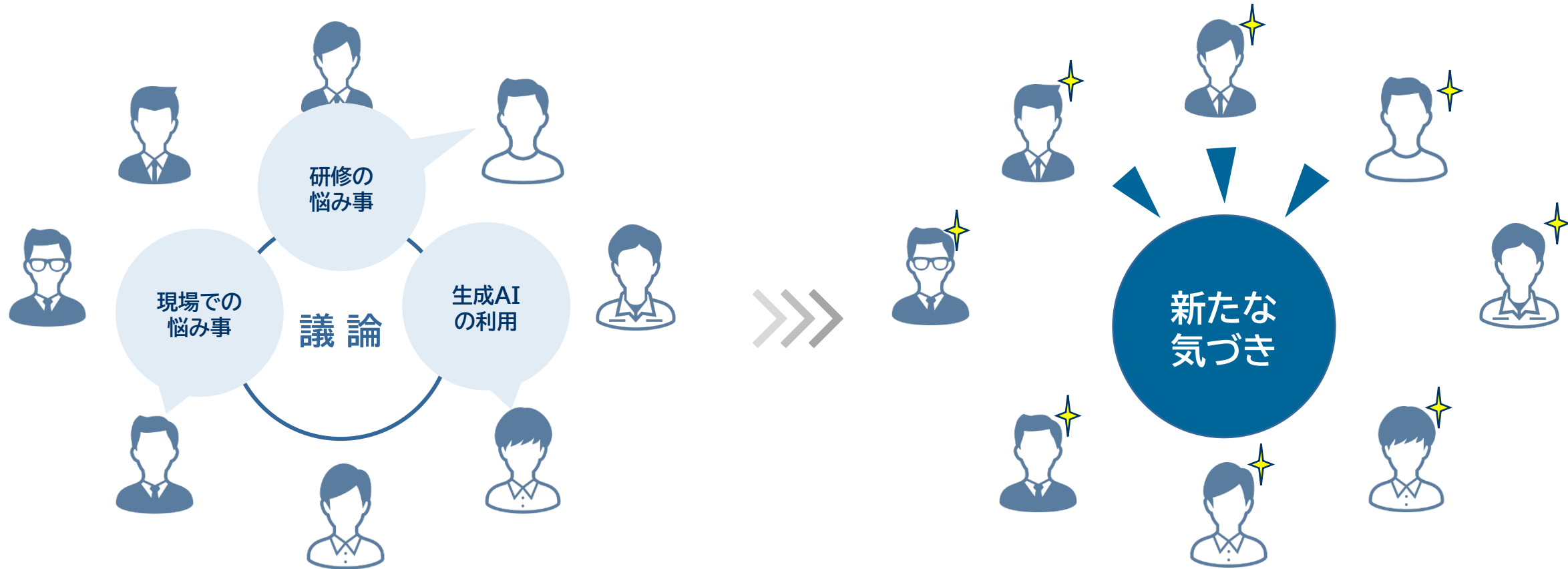
テーマ 01 ケースメソッド実践ガイドの制作

■ ケースメソッドを人材育成の教育に取り入れるにも、さまざまな悩みがありますよね？



これらの悩みに応じてケースメソッドを各社、各組織の教育に
気軽に導入できるような「ケースメソッド実践ガイド」を制作しました。

テーマ 02 SG参加メンバーの悩みごと相談



正解のないテーマで様々な意見から、**新たな気づき**を得ることができ、
ケースメソッドで狙っている目的を実感できています！

活動体制

リーダー 翠川 賢太郎 キヤノン株式会社

サブリーダー 常盤 努 SCSK株式会社
木村 良一 三菱電機ソフトウェア株式会社

メンバー

佐藤 誠 PMI日本支部 事務局

高橋 和巳 リコージャパン株式会社	山田 一成 株式会社リコー
土岐田 淳一 リコーテクノロジーズ株式会社	松尾 智之 株式会社エクサ
西原 信仁 日本IBM	重見 憲一 NECソリューションインベータ株式会社
牛山 主計 日本ビジネスシステムズ株式会社	清村 建宅 明治安田システム・テクノロジー株式会社
三宅 俊吾 日本プロセス株式会社	安藤 徹 KDDI株式会社
守谷 元伸 新日本住金ソリューションズ株式会社	宇多 弘次 KDDI株式会社
谷口 翔太 ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社	遠藤 勉 日本電気株式会社

メンバー**17名(16社)**で毎月第4月曜日に活動中です
多様な所属、立場の方々が集まり、気軽に楽しく研究をしています

一緒にぜひ！

■ 2024年は以下のような活動を行ってきました

時期	2024年				2025年
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1月～
トピックス	■ ケースメソッド実践ガイド制作 & 悩みごと相談（通年） ■ フォーラム発表 ■ SG活動報告				ケースメソッド実践ガイドのバージョンアップ（生成AIの活用など）を目指して、活動を進めていきます
ポイント	■ ケースメソッド実践ガイドの構成やコンテンツの議論	■ フォーラム発表準備 ■ ケースメソッド実践ガイドの骨子作成	■ ケースメソッド実践ガイドの詳細作成	■ 今年の研究活動の振り返り ■ ケースメソッド実践ガイドのレビュー ▶ 完成へ	

成果

01

成果

02

2024年の活動のうち、**フォーラムでの発表**と、**ケースメソッド実践ガイドの完成**（予定）が大きな成果

「PMI日本フォーラム2024」での発表

■ PMI日本フォーラム2024※で、ケースメソッドについて発表

■ ケースメソッドSGの活動発表

概要

- PMI日本フォーラム2024の「研究報告講演」において、
「**ケースメソッドで育てる！
プロジェクトをリードできる人材**
～議論を盛り上げるポイントを添えて～」と題して、ケースメソッドの詳細やケースメソッドSGの活動等について発表

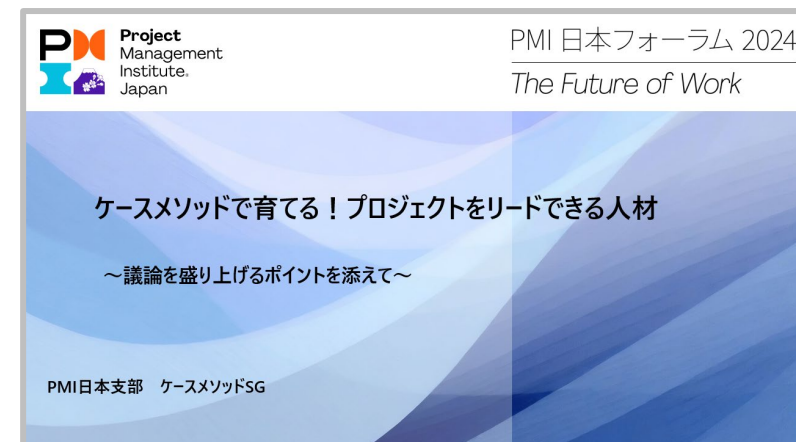
講師

- キヤノン株式会社 翠川 氏 | ケースメソッドSG

内容

- プロジェクトをリードできる人材の教育は難しい
- ケースメソッドについて
- ケースメソッドの進め方例
- 議論リードの心得

【PMI日本フォーラムでの講演資料】



※PMI日本フォーラムとは

PMI日本支部最大のイベントで、PMI日本支部でのプロジェクトマネジメントに関する最新の研究活動の全体を理解することができる

「PMI日本フォーラム2024」での発表

■ 全ての参加者の方から、前向きな評価とコメントをいただきました！

全 56 講演中

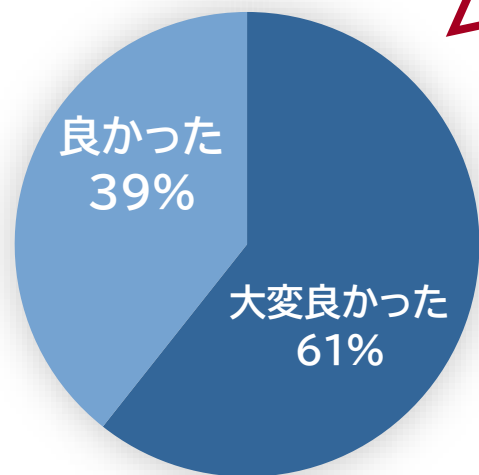
優秀賞(第2位)獲得！

受講
者数

■ 61名

アンケート結果

評価※1



■ 大変良かった ■ 良かった ■ 良くなかった ■ 全く良くなかった

好意的な評価

100%

主なコメント※2

- ケースメソッドは疑似的に体験することで自ら学び、気づきの能力「内省力」が向上できる。ケースメソッドの有効性を整理できた。
- 経験できるプロジェクトが限られるので、ケースメソッドは知識と現場とのギャップを埋めるのに有用と感じた。
- ケースメソッドスタディについて概観を知ることができ、興味を持ちました。
- プロジェクトマネジメントは教科書通りにいかない、まさにその通りだと思った。ケースメソッドによる学習、訓練は非常に有効だと思う。

※1 「大変良かった」、「良かった」、「良くなかった」、「全く良くなかった」の4段階評価

※2 出所 | PMI日本支部実施のアンケート結果から抜粋

2. ケースメソッド実践ガイドの紹介

ケースメソッドとプロジェクトマネジメント教育

- ケースメソッドはプロジェクトマネジメント教育に**効果的**と考えています

プロジェクトマネジメント教育の難しさ

- プロジェクトマネジメントに**絶対的な正解**はない
- プロジェクトマネジメント力の向上のためには**経験値**を上げることが重要
- しかし、**参画できるPJの数や分野等には限度がある**ため、簡単に経験値を上げられるわけではない



ケースメソッドを**容易**に導入～実施できるように

ケースメソッドの効果

- ケースの追体験により、疑似的に**経験値**を上げられる
- 他者の知見や考えから**新たな気づき**を得られる
- 他者との議論を通じて、PJの課題を**多角的な視点**で見られるようになる



ケースメソッド**実践ガイド**を制作

■ ケースメソッド実践ガイドとは？ 法人スポンサー企業の皆さんにオススメしたいポイント

Point
01

わかり易い

- シンプルな構成
- クリアな解説

Point
02

伝わり易い

- ケースメソッドをご存じない方に効果をイメージしていただける
- ケースメソッド導入を推進する際、説明&説得する資料に流用できる

Point
03

活かし易い

- 企画～計画～実施～振り返り等、そのまま使えるコンテンツ多数
- 実際に実施した実績データに基づく有用、有効なノウハウを公開

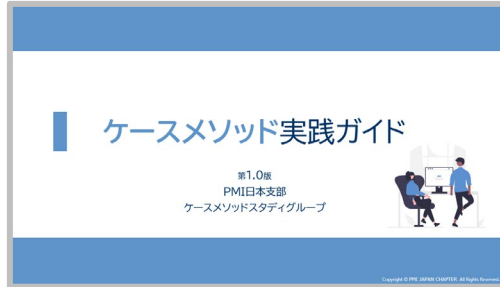
ケースメソッド実践ガイド

第1.0版

PMI日本支部

ケースメソッドスタディグループ





目次

はじめに

1. 概要

- ▶ なぜ、いまケースメソッドなのか？

2. 導入

- ▶ 事例からケースへ、作り方と活かし方

3. 運営

- ▶ 研修の企画と計画、準備と実施

ご参考（Appendix）



ケースメソッド実践ガイド

第1.0版
PMI日本支部
ケースメソッドスタディグループ



目次

はじめに

- 1. 概要 ▶ なぜ、いまケースメソッドなのか？
- 2. 導入 ▶ 事例からケースへ、作り方と活かし方
- 3. 運営 ▶ 研修の企画と計画、準備と実施

ご参考 (Appendix)



1. 概要

1-1. なぜ、いまケースメソッドなのか

- ① PM育成の課題
- ② 経験学習モデル等

1-2. ケースメソッドとは

- ① ケースメソッドの歴史
- ② ケースメソッドとケーススタディの違い
- ③ ケースメソッドの実施イメージ
- ④ ケースメソッドのメリットと留意点

1-3. ケースメソッドのフレームワーク

- ① 企画と計画
- ② ケース選択
- ③ 事例収集
- ④ ケース作成
- ⑤ 設問作成
- ⑥ 実施と評価

ケースメソッド実践ガイド

第1.0版
PMI日本支部
ケースメソッドスタディグループ



目次

はじめに

- 1. 概要 ▶ なぜ、いまケースメソッドなのか？
- 2. 導入 ▶ 事例からケースへ、作り方と活かし方
- 3. 運営 ▶ 研修の企画と計画、準備と実施
- ご参考 (Appendix)



2. 導入

2-1. 目的の明確化

- ① 立ち上げのワークフロー
- ② 受講の対象者イメージ

2-2. 事例の収集

- ① 事例を収集する手段
- ② 受講者レベルや、開発工程に応じた収集
- ③ プロジェクト環境や組織文化から見た抽出のポイント

2-3. ケースの作成

- ① ケース作成のワークフロー
- ② ケース作成時の留意ポイント
- ③ ケース内の設問
- ④ ケースの“品質”レビュー
- ⑤ 解説文の書き方
- ⑥ ケース作成におけるプロセス適用の例

ケースメソッド実践ガイド

第1.0版
PMI日本支部
ケースメソッドスタディグループ



目次

はじめに

- 1. 概要 ▶ なぜ、いまケースメソッドなのか？
- 2. 導入 ▶ 事例からケースへ、作り方と活かし方
- 3. 運営 ▶ 研修の企画と計画、準備と実施

ご参考（Appendix）



3. 運営

3-1. 研修の実施

- ① 研修構成の事例 | 企画の目的、タイムテーブル、チーム編成など
- ② 事前の準備事項 | トークスクリプトの用意、案内や課題の前渡しなど
- ③ 研修当日の流れ | 進め方など
- ④ 終了時のまとめ | 受講者向けフィードバックのポイントなど

3-2. 研修の評価【受講者】

- ① フィードバック | アンケートなど
- ② クロージング | 気付きや考える機会を活かす意思付けを後押し

3-3. 研修の振り返り【運営】

- ① フィードバック | 改善点など
- ② アフターレポート | 研修完了報告のポイントなど

3-4. 講師育成のポイント

- ① 人物像 | ポジティブ、アクティブ、アトラクティブ
- ② 心構え | 必要なマインドセットとは？
- ③ 育て方 | ファシリテーションをトレーニングする

解説

1. 概要

1-3. ケースメソッドのフレームワーク

① PMI日本支部 | ケースメソッドスタディグループ独自の考え方 ▶ 3つのポイント

Point 01

標準

プロセスとして、整理および整備することで導入を容易に

Point 02

共通

言語として、認識を合わせ易く、関係者間で相互に理解し易く

Point 03

概念

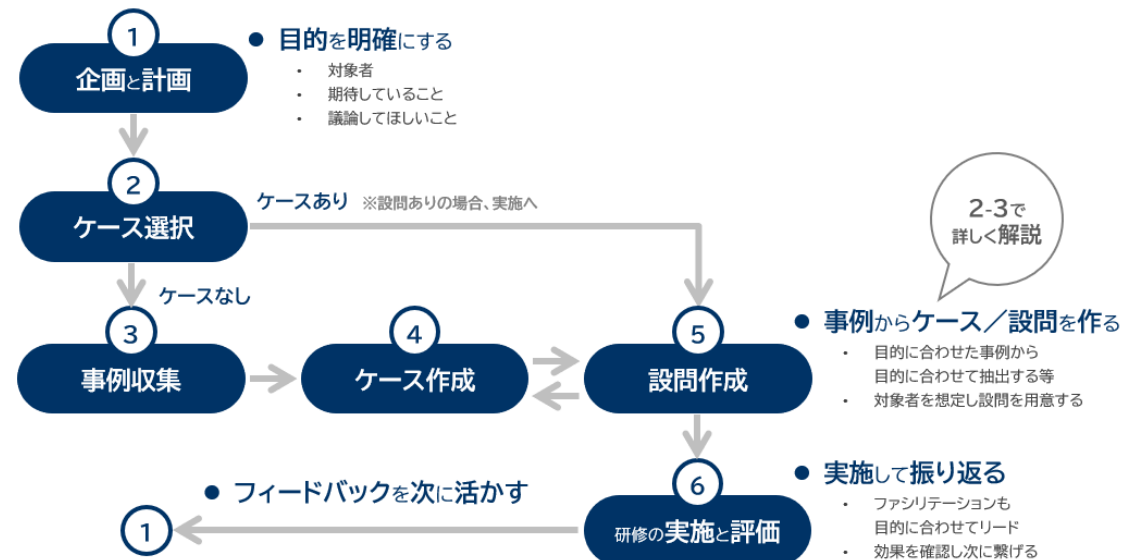
モデルとして、ケースメソッドを俯瞰したイメージができるように

Copyright

図示

1. 概要

1-3. ケースメソッドのフレームワーク

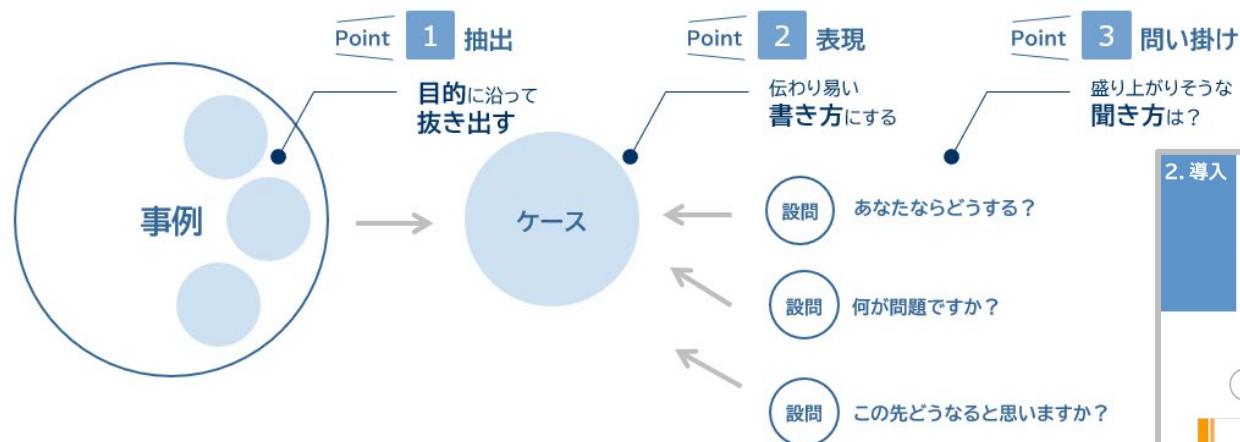


図解

2. 導入

2-3. ケースの作成

⑥ ケース作成におけるプロセス適用の例



Copyright © PMI Japan C

例示

2. 導入

2-3. ケースの作成

⑥ ケース作成におけるプロセス適用の例

人材育成SGとのコラボ企画



43

Copyright © PMI Japan Chapter All Rights Reserved

PMI日本支部サイトにて公開予定 | 2025年1月
お知らせにてアナウンス予定

3. 今後の活動予定

- ケースメソッドへの適用について ▶ 研究活動で生成AIにケースと設問を作らせてみました！



生成AIの可能性について

- ケースメソッドへの適用について ▶ 特に ケースの品質や効率のアップ に有効と考えている

入力の
し易さ

項目の
標準化

より良い出力結果を導き出すプロンプトなどを研究し、
「ケースメソッド実践ガイド」をバージョンアップ予定！

条件の
パラメータ化

心に響く
ケース出力



さいごに...

メンバー募集中！

見学、
大歓迎

業種・業界
不問

ケースメソッドSGの活動を
一緒に盛り上げてくださる方を募集しています！



ご興味ございましたら、
PMI日本支部 法人スポンサースタディグループ事務局
までお問合せください



気付いて、考えて、動ける

実践力